

JPCOAR (ジェイピーコア) とは



オープンアクセスリポジトリ推進協会

Japan Consortium for Open Access Repository : JPCOAR

オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)は、国内の大学・研究機関が力を結集し、
オープンアクセスの発展に向けた課題の解決に共同で取り組んでいく拠点です。

J P C O A R
オープンアクセスリポジトリ推進協会

オープンアクセスリポジトリ推進協会 (JPCOAR : Japan Consortium for Open Access Repository)

- 国公立大学図書館協力委員会と国立情報学研究所 (NII) の間の連携・協力協定に基づき、2016年7月に設立したコミュニティ
※前身となる組織は機関リポジトリ推進委員会で、2017年3月に解散したデジタルリポジトリ連合 (DRF) の役割も引き継ぐ
- 目的：リポジトリを通じた知の発信システムの構築を推進し、リポジトリコミュニティの強化と、我が国のオープンアクセス並びにオープンサイエンスに資すること
- JAIRO Cloud (共用リポジトリサービス) をNIIと共同運営
- 参加機関：723機関 (2022年11月8日現在)
- 運営委員会と3つのグループ・6つの作業部会 (広報・普及、イベント運営、コンテンツ流通促進、**研究データ**、JAIRO Cloud、システム開発・連携)

JPCOAR研究データ作業部会の取組（1）

「研究データ管理事例集」の公開

- 大学ICT推進協議会研究データマネジメント部会（AXIES-RDM部会）と連携し、RDM事例形成プロジェクトとして実施
- 2019-2021年度、プロジェクト参加機関と情報・意見交換等を行い、その成果として2022年9月に本事例集を公開

「研究データ管理事例集」 <https://doi.org/10.34477/0002000217>

【掲載内容】

- **研究データ管理支援：4件**（国立環境研究所、岐阜大学、理化学研究所、金沢大学）
- **研究データ公開・利活用等：5件**（理化学研究所、北海道大学（2件）、名古屋大学、総合研究大学院大学）
- **利用者支援：3件**（国立環境研究所、名古屋大学、理化学研究所）
- **管理体制の構築：6件**（日本原子力研究開発機構（2件）、沖縄科学技術大学院大学、東京工業大学、京都大学、九州大学）
- **事例の傾向分析**

JPCOAR研究データ作業部会の取組（2）

「国内機関における研究データ管理の取り組み状況調査」

- AXIES-RDM部会 & NISTEPと連携し、RDM事例形成プロジェクトの一環として実施

- **2022年調査（予定）**

調査期間：2022年11月～12月頃、質問数：全47問、対象機関：JPCOAR・AXIES参加機関他

主な変更点：

- 1) **調査における研究データポリシーの定義の明確化**

前回は策定率が意外と高く（17.6%）、10年保存ルール等が含まれている可能性が高いため、質問を改善

- 2) **実施・検討中の研究データ管理サービスの内容とサービスに関わっている部署を質問**

前回は図書館によるサービスに限定して質問

- 3) **すべてJPCOARから調査依頼に変更** 前回は調査依頼をJPCOAR・AXIESで分担したため、集計・分析が複雑に

- **2020年調査結果**

調査期間：2020年11月27日～12月28日実施、質問数：全46問、有効回答機関：352機関

集計結果（2021年4月）：「2020年度RDM事例形成プロジェクト中間報告書」 <https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/records/2000003>

NISTEPによる分析結果（2022年3月）：池内 有為、林 和弘 著「日本の研究機関における研究データ管理（RDM）の実践状況－オープンサイエンスの実現に向けた課題と展望－」 <https://doi.org/10.15108/stih.00287>

JPCOAR研究データ作業部会の取組 (3)

RDM教材の更新・公開等

- 「情報基盤スタッフ向けの研究データマネジメント」の公開

<https://doi.org/10.34477/0002000210>

- 2020年にJPCOARが公開した「研究者のための研究データマネジメント」を元に、AXIES-RDM部会のメンバーにより、情報基盤スタッフ向けに再構成・加筆したもの
- ファイル構成：「00：概要と背景」「01：研究前 データ管理計画（DMP）の作成」「02：研究実施中 研究データの保存」「03：研究実施中 データの収集・分析・整理」「04：研究後 研究データの公開」

- NIIが提供する学認LMS上のRDM教材の公開等への協力

- 「研究者のための研究データマネジメント」
- 「研究データ管理サービスの設計と実践」等



JPCOAR研究データ作業部会の取組（４） 他の組織との連携

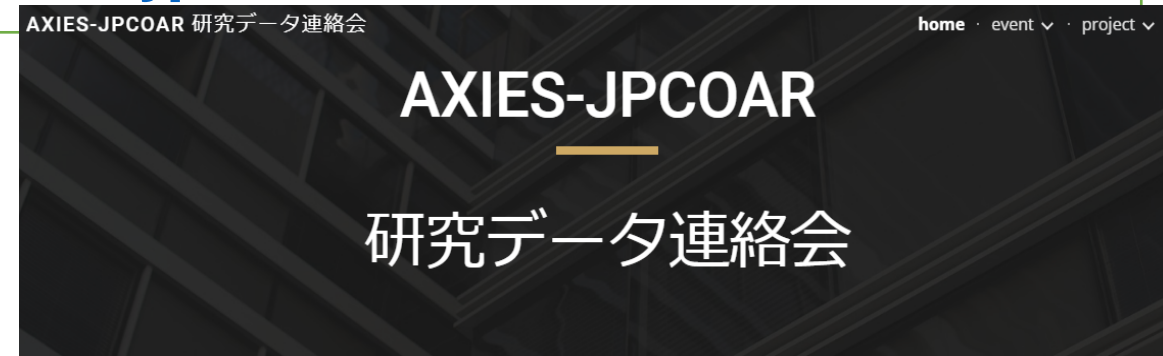
AXIES-JPCOAR研究データ連絡会

<https://sites.google.com/view/axies-jpcoar/>

AXIES-RDM部会とJPCOAR研究データ作業部会による共同運営のサイト

【掲載内容】

- ・ イベント情報：これから、これまで
- ・ プロジェクト等情報
 - ・ RDM事例形成、
 - ・ 情報基盤スタッフ向けRDM教材
 - ・ 国内大学の研究データポリシー一覧



[連絡会について](#)

[これからのイベント](#)

[これまでのイベント](#)

[実施中のプロジェクト](#)

連絡会について

研究データ管理(Research Data Management, RDM)とは、「研究の開始から終了までを通じ、どのような研究データを収集・生成するか、そのデータをどのように解析、保存、共有、公開するか、等を定め、これらを実践すること」です。オープンサイエンスの進展、研究活動の透明性の維持、といった様々な理由で、RDMの課題は、研究者と研究データを中心とし、学術分野、大学等学術機関、さらには政策や市民科学等、社会全体が関与する複雑な問題となっています。

「オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR) 研究データ作業部会」と「大学ICT推進協議会(AXIES) 研究データマネジメント部会」は、学術機関でのオープンサイエンスの推進と、研究データ管理体制の充実に取り組んできました。「AXIES-JPCOAR 研究データ連絡会」は両団体が持つ共通の課題の発見と解決を促すことで、学術機関によるオープンサイエンス、研究データ管理体制の更なる発展を支援します。

オープンアクセスリポジトリ推進協会 研究データ作業部会
大学ICT推進協議会 研究データマネジメント部会

その他

2022年図書館総合展JPCOAR主催フォーラム 「JPCOAR2022：ダイヤモンドOAと機関リポジトリ」

日時：2022年11月25日（金）13:00-15:00

開催方法：オンライン開催（Webexウェビナー）、共催：図書館総合展運営委員会

詳細：<https://www.libraryfair.jp/forum/2022/389>

プログラム概要：

第1部 JPCOAR作業部会活動報告

第2部 ダイヤモンドOAと機関リポジトリ

- ・ダイヤモンドOAについて：下城陽介（イベント運営作業部会／東京大学附属図書館）
- ・ダイヤモンドOAとしての紀要（仮）：
 - 設樂成実（京都大学東南アジア地域研究研究所／紀要編集ネットワーク）
- ・学会による学術雑誌出版とダイヤモンドOA：保全生態学研究の例：
 - 小池文人（横浜国立大学大学院環境情報研究院／日本生態学会）

その他

JPCOARスキーマVersion 2.0ドラフト版の公開および意見募集

<https://metadata-twilight2.peatix.com/>

意見等募集期間：2022年11月25日（金）まで

意見等の提出先：

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdCuZzxGDal8RKmA1yRgfNloFZg5R9_U5gIIOTwG_pZ8Y766A/viewform?usp=sharing

試行的な取り組み「RDM日本コミュニティ」

<https://wa.rdm-japan.org/>

- RDMに関する話題を広く集め、自由に議論できる場所を目指す掲示板
- RDMは対象が広く、「誰が」「どの分野で」「どんな興味」を持っているのかが分かりにくく、そのような皆さん交流の場となることを期待
- 現状はイベントや事例の広報・情報共有が多いが、RDMに関心を持つ多くの方に参加いただきたい